

The Future of Medicines Development

会期：September 27 [Thu] - 28 [Fri], 2018 [ICPM & JAPhMed共通]
September 29 [Sat], 2018 [JAPhMed年次大会]

会場：東京大学 伊藤国際学術研究センター (9月27・28日)
東京大学医学部教育研究棟14階鉄門記念講堂 (9月29日)

[ICPM2018 大会長]

今村恭子 (東京大学大学院薬学系研究科ファーマコビジネス・イノベーション 特任教授)

[第9回日本製薬医学会年次大会 大会長]

西馬信一 (日本イーライリリー株式会社 研究開発本部 安全性メディカル・疫学 /
データベース研究 ディレクター)

後援：公益社団法人日本医師会 / 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) / 一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン
日本臨床試験学会 / 日本臨床薬理学会

[プログラム]

オープニングセレモニー：

横倉義武 先生 (世界医師会・公益社団法人 日本医師会 会長)

Dr. Honorio Silva (President of IFAPP)

岩本和也 (一般財団法人 日本製薬医学会 理事長)

特別講演1：Dr. Otmar Kloiber (Secretary General, World Medical Association)

特別講演2：鈴木康裕 先生 (厚生労働省医務技監)

パネル・ディスカッション Medical Affairs and MSL

シンポジウム1 Regulatory Sciences

シンポジウム2 Education in Pharmaceutical Medicine and Clinical Research

ワークショップ1 Clinical Trials

ワークショップ2 Ethics in Medicines Development

ワークショップ3 Access to Medicine from Tier Pricing to Neglected Disease

ワークショップ4 Patient Centered Medicines Development (Round Table)

ワークショップ5 Medical Safety

ワークショップ6 Good Publication Practice

ワークショップ7 Big Data in Medicines Development : facts and beliefs

ワークショップ8 Best Practices in Pharmaceutical Medicine

→ <http://icpm2018tokyo.com/>

第9回

日本製薬医学会 年次大会

製薬医学の未来を考える

2018年

9月29日(土) 9:00-16:00

東京大学医学部鉄門記念講堂(医学教育研究棟14階)

9:00~9:30 日本製薬医学会会員総会

9:30~11:30

Session

1

メディカルアフェアーズ:

製薬産業と医療関係者を結ぶ機能 - 日本におけるMSLの現状と目標

座長: 富安 美千子 (サノフィ株式会社)

11:40~12:40

Session

2

臨床研究法への対応は大丈夫?

~「企業の臨床研究の実施体制およびガバナンスに関する調査」結果により
浮き彫りとなった課題~

座長: 吉田 浩輔 (リニカル)

14:00~16:00

Session

3

医薬品安全性:

国内と海外のデータベースの特徴と、医薬品安全性モニタリングへの応用
- 各種のデータベースと視点の違い -

座長: 前田 玲 (日本イーライリリー株式会社)

予約・
申し込み

ICPM2018 Websiteから申し込みください。

※9月29日のみご参加でもICPM2018への参加費が必要となります。

<http://www.icpm2018tokyo.com/index.html>

問い合わせ先

日本製薬医学会事務局 zymukyoku@japhmed.org